

授業科目名	教職表現力演習 (2100301)		
時間割名	教職表現力演習 (44101)		
時間割担当	大淵裕美		
実施期	通年	単位数	1 選択
曜日・時限	木・4		

授業の目標・概要

本授業では、アカデミックスキルの中でも、「文章表現力」を中心に身につけることを目的とする。具体的には、テキストを用いながら、敬語、文章表現、文書等の書き方、分析・考察の仕方などを学修する。これらを通じて、幼稚園教諭・保育士として、幼児をはじめとする他者に対して、物事をわかりやすく伝える表現力の基礎となる力の養成を目指す。

学習の到達目標

- ・大学生・社会人として求められる日本語の基礎的なルールを理解することができる。
- ・幼稚園教諭・保育士として必要な文章表現に関わる基本的な知識を獲得し、知識に基づいた実践を行うことができる。

授業方法・形式

教科書を用いた講義・演習形式で行う。

授業計画

<前期>

第1回 ガイダンス

第2回～第6回 言葉と表現を知ろう

同音異義語・同訓異義語、四字熟語、慣用表現、文の構造

第7回～第10回 敬語・経緯表現を使おう

敬語の種類、敬語の用法、敬意表現

第11回～第14回 書いてみよう(情報を伝える力)

手紙文、案内文、ビジネス文書、企画書、報告書等の書き方を学修する

第15回 まとめ

<後期>

第1回 ガイダンス

第2回～第7回 分析と考察をしよう

データを分析して、結果と考察の書き方を学ぶ

第8回～第12回 レポートを書こう

レポートの書き方・資料の集め方、構成の仕方などを学び実際にレポートを作成する

第13回・第14回 口頭発表・スピーチをしよう

口頭発表の心得を学修し、実際にスピーチを実践する

第15回 まとめ

成績評価の基準

出席(20%)、

前期期末試験・小テスト等(30%)

後期レジュメ及び発表(20%)、最終レポート(30%)

準備学習・復習及び授

次回授業の範囲の予習や小テスト、発表の準備、最終課題作成等の予習・復習などが必要となる。

履修上のアドバイス及

- ・本講義で身につける知識を日常生活や他科目の学修などに積極的に導入し、実践することを勧める。

教材・教科書

米田明美・山上登志美・蔵中さやか、2010、『大学生のための日本語表現実践ノート改訂版』風間書房。

参考書

授業時に適宜紹介する。